



2025年11月16日 発行

No.249 (11月号)

地縁法人 安食台3丁目自治会  
発行責任者 自治会長 早川俊次  
発行者 総務部広報 西浦賢

Communication Paper

安食台3丁目自治会だより

### 10月の活動報告

- ◇会議
  - 自治会役員会議 10月12日(日)
- ◇行事
  - 栄町総合防災訓練 10月5日(日)
- ◇会員数 290世帯

### 12月の予定

- ◇会議
    - 自治会役員会 12月21日(日)
    - 自主防災会役員会議 12月7日(日)
    - ブロック長会議 12月27日(土)
  - ◇回覧 12月13日(土)
  - ◇行事
    - 餅つき大会 12月14日(日)
    - ◇年末特別警戒パトロール 12月30日(火)
    - ◇集会所鍵当番 長谷川 勝秀(3-11)
- ☎ 95-2879



皆さん、お気づきになりましたか?  
**三丁目緑道の花壇が植栽により綺麗になってきました**

これは9月に発足した三丁目植栽ボランティア『花結(はなゆい)』の皆さんによるものです。『花結』の下には担当区域(花壇)ごとに『サンサン』『バーベナ』『あじさい』という3つの植栽ボランティアがあり、お互いに協力し合って活動しています。

3ボランティアの運営は栄町からの補助金、三丁目自治会からの支援、寄付金によりまかなわれます。

「ボランティアにご参加いただける方はいつでも大歓迎です。お見かけのボランティアメンバーにお声かけください。」とのこと。自治会としてもこの活動を応援していきます。



### 栄町総合防災訓練(10月5日開催)



10月5日(日)9:30~12:30 栄町総合防災訓練が安食小学校、安食台小学校の2会場で実施されました。安食台小会場では安食台2・3・4丁目に加え新たに1・5・6丁目、松ヶ丘地区の3地区が加わり多数の地域住民が参加しました。(本自治会参加は35名)訓練では、避難者受け入れ手続き、ワンタッチパーティションテントの設営、簡易トイレの使用体験などが行われました。栄町では大地震の際に1,400名の避難者が予想されており、「避難所は住民の力で!」を基本に、地域住民が主体となって避難所を開設・運営することが求められています。避難所運営には、運営委員だけでなく避難者自身の積極的な参加が必要です。災害時には自宅で過ごすことが基本ですが、それができない場合は安食台小学校の体育館や駐車場を利用します。この際、怪我人や病人、感染症への配慮、また高齢者や障害者など、特に支援が必要な人々への優先的な配慮が求められています。

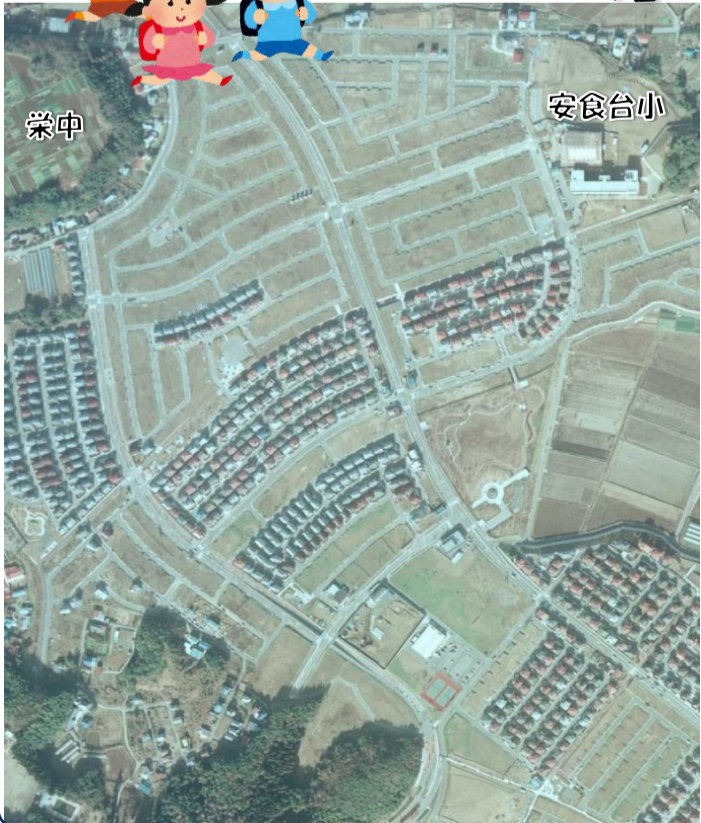
- 安否確認訓練** 11月16日(日)9:30までにつながりフラッグを掲出
- 秋の大掃除** 11月16日(日)10:00~10:30 **忘れないで!!**
- 3丁目防災訓練** (道面児童公園)11月30日(日)10:00~11:30(雨天中止)

- 餅つき大会** (3丁目集会所)  
12月14日(日)10:00~13:00 詳細は別途回覧で
- 運営関係者事前説明会12月7日(日)13:00~15:00
- ★雨天時でも餅の配布は集会所で行います★

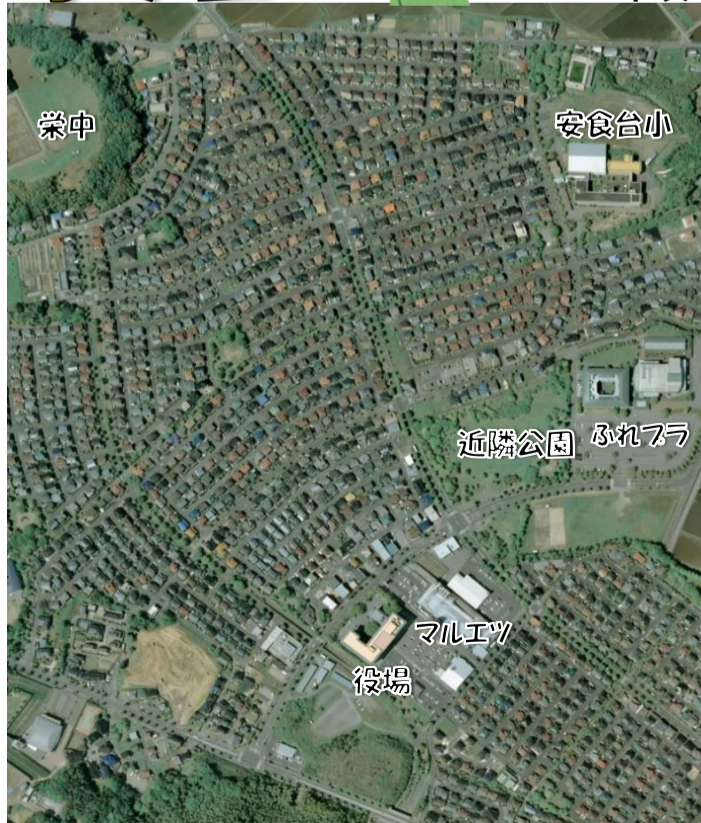


## 栄町今昔

1983年頃



2008年頃



### 安食台小学校開校

安食台小学校は、千葉県栄町における大規模住宅地開発に伴う安食小学校の児童急増に対応するため、昭和58年(1983年)4月8日に分離・独立して開校した。開校の背景には、昭和50年代後半の「水と緑の田園観光都市」構想や成田線電化による東京通勤圏化の進展があり、栄町が住宅都市へ変貌する中で、開発された安食台の新しい生活環境の中に教育拠点として設立されました。開校当初は児童数が1,000名を超えるマンモス校として活気あふれるスタートを切りました。しかし、その後の地域の高齢化や人口減少により児童数は大きく減少する。平成27年(2015年)には北辺田小学校と酒直小学校を統合したが、長期的な傾向として小規模校化が進み、現在は200名あまりの小規模校となっている。安食台小学校は、地域の開発と人口の波を反映し、開校当初の「急増」から現在の「減少」へと大きく規模を変遷させてきた学校である。

出典国土地理院(写真)